

→上空25メートルまであがる大型の熱気球。初めての空の旅に緊張と興奮が伺えました。初



空からまちをしてみよう 3/5 気球に乗って大空へ

「公共の場所で参加型の楽しいイベントをしたい」という思いから、市内の公園で熱気球体験が開催されました。子どもたちによるミニ気球実験と係留気球への搭乗体験が行われ、たくさんの人が参加しました。あまり見る事のない大きな気球、完成すると参加者から歓声が上がりました。搭乗した人は「ちょっと怖かったけど楽しかった!」と興奮した様子で感想を話してくれました。

色を塗ってダムをPR 3/6 下久保ダムマンガ

藤岡市と神川町でつくる「きらり☆にぎわい観光会議」と「神流川ビジョン推進協議会」が下久保ダムを題材にしたぬり絵コンテストを開催しました。表彰式には原画も担当したダムマンガの作者、井上よしひささんも出席。軽快なトークで講評を話し、その後サイン会を行いました。1,000通を超える応募の中から入選した女の子は「信じられない」と目を輝かせ、サイン入りの単行本を抱きかかえていました。



←初めてもらうプロの漫画家のサイン。もらった女の子は宝物にするので大事そうに抱えます。

タイミングを見計らい、風上に向かって走ります。



伝統の遊びにふれる 2/27 たこよ! 空高くあがれ

藤岡歴史館で企画展「昔の冬のあそび」にあわせ和風づくり教室が行われました。遊ぶ機会の減ったたこよも、手作りすると身近に感じます。たこが完成したらよいよ実践。風が弱くたこ揚げの難しい日でしたが、子どもたちはコツを教わりながら目いっぱい楽しんでいました。

鳴き声から居場所を探索。いた!! 思わず笑みがこぼれる。



うららかな日のバードウォッチング 2/28 鳥たちとの出会いに笑顔

八塩あじさいの里周辺で野鳥観察会が行われました。ポカポカ陽気の中、鳴き声を聞き逃がすまいと聞き耳をたてながら歩く一行。いち早く見つけた人は「ジョウビタキがいるよ。あそこ、あそこ」と、不意に訪れた小鳥との出会いの喜びを、周りの人にお裾分けしていました。



実際の場面を想像して練習。日頃から考えておくのがコツ。

気持ちに余裕を持って 2/26 怒鳴らない子育て

市保健センターで「どならずに子どもに伝える方法」を学ぶ子育て講座を開催しました。子どもを怒鳴ってしまい、怒鳴った自分も責めてしまう。「そんな悪循環を解消するために、まずは自分をほめる」などポイントを紹介。参加者は「ちょっと心が軽くなった」と笑顔を見せていました。



大事ななのは「日常生活から意識すること」と座り方を指導

腰無理せず、継続して楽しむ 2/27 腰痛予防のコツ

総合学習センターで腰痛予防教室を開催しました。予防医療にもなる腰痛解消。市内の先生に指導され、気を付けることや考え方などを学びました。参加者は「こんなに軽くなるとは」とやる前後の違いに驚愕。「覚えて帰る」と意気込みつつ、気持ちよさそうに体感していました。



↑羽咋市自慢、自然栽培されたニンジンジュースを味わう参加者

もふるまわれしました。羽咋の特産品が当たる抽選会も催し、会場内は地元の話で盛り上がる姿が見られました。今後も親睦を深めるとともに、市との交流活動を通して移住・定住推進やふるさと寄付など市を支援する活動を行っていきます。



出身者の集い 羽咋会の設立

2月28日に、中京羽咋会設立総会が愛知県名古屋市中区で盛大に開催され、中京圏在住の当市出身者ら約50人が出席しました。羽咋会は当市出身者が都市圏で一堂に会し、情報交換を行います。ふるさとを支援していくことを目的として、昨年6月27日に東京都千代田区で関東羽咋会が、10月24日には大阪府大阪市で関西羽咋会が設立。各総会では、当市への移住推進を促す取り組みなどが説明されました。関西・中京では、特に力を注いでいる自然栽培の米を使用しおにぎりやにんじんジュース、ジビエソーセージ